

○まえがき

道路事業における動物、植物、生態系に関する環境影響評価にあたっては、環境保全措置（回避・低減・代償）の検討と、その環境保全措置の効果に不確実性が伴う場合には、事後調査計画の検討が必要となる。

環境保全措置の計画検討にあたっては、従来より科学的知見や類似事例を参考に実施することとしているが、動物、植物、生態系における科学的知見や類似事例等は全般的に不足しており、現場の担当者は非常に苦慮している実態となっている。

そのようなことより、動物、植物、生態系に対する環境影響評価での環境保全措置および事後調査計画を行う場合の参考となるように、今回全国的な規模で、Ⅰ．動物の生息地の分断対策 Ⅱ．希少猛禽類の対策 Ⅲ．動物、植物の移植・移設 Ⅳ．動物、植物に対する道路照明設備の配慮、各々について、環境保全措置と事後調査結果の事例を収集し、それを事例集としてとりまとめたものである。

本事例集は、「道路環境影響評価の技術手法」の13．動物、植物、生態系の事例集として、動物、植物、生態系における道路環境影響評価を実施する際の参考として、代表的な事例をとりまとめたものであり、本事例集を参考として、各現場に適した対策を検討していくことが望まれる。